

第一回中間報告書
(報告期間 2016年 6月 13日～9月 30日)

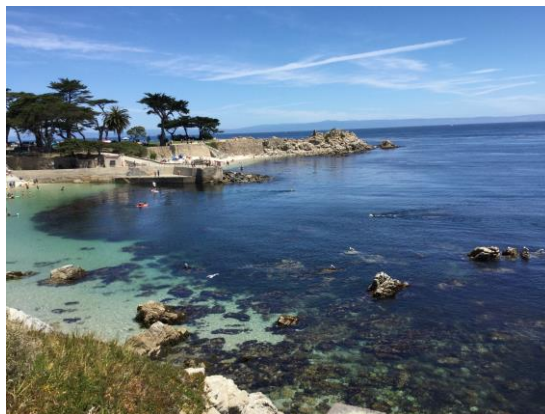
国際ロータリー第 2710 地区
2016-2017 年度 地区補助金奨学生
三澤志織

1. 報告書提出日：2016年 9月 30日
2. 基本情報
 - 氏名：三澤志織
 - 派遣ホストクラブ及びカウンセラー：広島西ロータリークラブ、梶本政明様
 - 受入ホストクラブ及びカウンセラー：Rotary Club of Monterey Pacific, Ms. Lisa Luscombe
 - 教育機関：Middlebury Institute of International Studies at Monterey
 - 専攻分野：MA in Translation

ミドルベリー国際大学院モントレイ校（以下、MIIS）とモントレイ

6月中旬に渡米し、カリフォルニア州モントレイにある MIIS での留学生活が始まりました。

MIIS のあるモントレイは、モントレイ半島の一角にあり海と山に囲まれた風光明媚な街です。サンフランシスコから車で南に約 2 時間の場所に位置しています。観光地としても知られた街のため、特に夏場はいつも観光客で賑わっていました。気候は想像していたよりも随分と涼しく快適で、治安も非常に良い場所です。



(写真) 近くの海

MIIS は、1955 年に言語・文化研究を中心とする大学院として設立されました。現在は、特に「通訳・翻訳・ローカリゼーション管理」、「言語教育」、「国際政治・経済」、「核不拡散・テロリズム研究」などの分野に力が入れられています。学生数は約 800 名と小規模ですが、アメリカ国外からの留学生が約 3 分の 1 を占め、国際色豊かな学校です。学生の 9 割以上が海外留学または海外就業経験があることや、大半の学部で 2 カ国語以上を使用できることが入学条件となっていることもユニークな点です。また、MIIS は私の学ぶ「通訳・翻訳・ローカリゼーション管理」の分野では世界でもトップレベルのプログラムを提供していることで知られており、卒業生は業界の第一線で活躍しています。キャンパスは中心街に位置し、利便性も高いので快適に学生生活を送ることができます。



(写真) 学校の図書館

私の在籍する学部について、ここで少しご紹介させていただきます。私は現在 The Graduate School of Translation, Interpretation, and Language Education (翻訳・通訳・言語教育学部) の Japanese program in Translation,

Interpretation, and Localization Management（日本語翻訳・通訳・ローカリゼーション管理プログラム）に在籍しております。日本語プログラム以外にも中国語、フランス語、ドイツ語、韓国語、ロシア語、スペイン語、6つの言語プログラムがあり、各言語と英語間の翻訳や通訳を学ぶことができます。また、各言語プログラムの中でも、何を専門的に学ぶかにより4つの専攻が用意されています。翻訳専攻（T）、翻訳・通訳専攻（TI）、会議通訳専攻（CI）、翻訳・ローカリゼーション管理専攻（TLM）の4つです。

1年目の学生は皆、専攻に関係なくほぼ同じ授業を受講して翻訳・通訳の基礎を学び、2年生に進級時に、向き不向きや成績等に基づき教授やアドバイザーと相談した上で、最終的な専攻を決定する仕組みになっています。私は、1年目は翻訳専攻として入学したのですが、2年目から翻訳・通訳専攻への移行を目指しています。

学業面での成果

私は日本語科翻訳専攻に8月下旬に入学いたしましたが、入学前の6月下旬から約2ヶ月間、English Preparation for Graduate Studies program（以下、EPGS）という事前の語学研修に参加しました。EPGSでは、月曜から木曜まで毎日午前と午後に3時間のクラスが1つずつあり、金曜日は大学院生活で役立つパソコン関連のワークショップや在学生のパネルディスカッションなどが行われました。授業はAcademic Writing（ライティング）、Listening（リスニング）、Presentation（プレゼンテーション）、English Preparation for Translation and Interpretation（翻訳・通訳準備コース）、の4種類があり、満遍なく英語力を鍛えることができとても有益だったと思います。集中的なコースのため、日々の課題も非常に多かったのですが、振り返れば大学院生活に向けて良い準備となりました。クラスメイトは私を含め10名で国籍も多様でした（中国、韓国、台湾、ブラジル、チリ、ケニア、カザフスタン、シリア）。授業内外で彼らから学ぶことができ、恵まれた環境でした。EPGSは最後に締めくくりとして、自国の抱える問題



（写真）EPGS最終日にクラスメイトと

に関する論文（私は日本の少子高齢化問題をテーマとしました）の提出と、論文に基づいたプレゼンテーションの発表会があり、8月上旬に無事終了しました。このプログラムを通じて、英語力強化はもちろんのこと、大学院生活への心構えが十分にできたこと、学校や周りの環境に十分に馴染むことができたこと、仲間ができたことなど得るものがたくさんありました。

約2週間休暇があり、8月下旬から約1週間、大学院のオリエンテーションを受け、翌週から本格的に授業が始まりました。私の在籍する日本語科は少人数で、私を含め7人です。日本人は私を含め2人、ハーフのバイリンガルの方が2人、アメリカ人の方が3人です。少人数ながらバランスのとれた構成で、とても恵まれた環境で勉強ができています。また、約50人在籍するという中国語科等に比べ、教授からの指導もよりきめ細かに受けることができるという点も恵まれていると思います。

以下に、今学期受講している授業について紹介いたします。

1. **Written translation** : 翻訳の授業です。毎回授業の前までに課題として1つずつ翻訳を完成させ提出し、翻訳のプロセスや解釈についてクラスでディスカッションをします。また、授業ごとに一人ずつ担当者が翻訳に関する知識についてのプレゼンテーションを行います。

2. **Sight translation** : サイトトランスレーションといい、文章を目で見て瞬時に声に出して訳出する授業です。配布された資料に数分間目を通した後、一人ずつクラスメイトと教授の前に立ち、当てられた部分を声に出して訳出します。非常に緊張する授業です。授業での自分の訳出は、ICレコーダーで録音をし、授業後に録音を聴きながら書き起こしてレポートとして提出します。

3. **Interpretation** : 通訳の授業です。クラス全員が毎回テーマに沿ってスピーチを用意して順に発表し、それを当てられた人が通訳します。通訳の歴史やメモ取りのテクニックについても学んでいます。

4. **Computer assisted translation** : 翻訳支援技術やツールについて学ぶ授業です。他言語の学生とともに受講しています。翻訳業界では、一度翻訳をしたものをメモリーとして保存しておき、次に同様の文章を翻訳する際に利用できるようにする機械や、専門用語を管理するシステムなど、次々と効率アップを図るための新しい技術が生み出されています。今後ますますこのような知識が必要とされる時代となることが予想され、非常に有益な授業です。授業の中で、日本はこのような機械の開発の面では最先端をいく一方で、その活用面ではか

なり他国から遅れているという話を教授から聞き、興味深く感じました。

5. **Localization project management** : ローカリゼーション・プロジェクト・マネジメントという授業です。こちらも他言語の学生とともに受講しています。

「ローカリゼーション」は、例えばホームページやパンフレットなどを海外向けに準備する際に、言語の翻訳に加えて、その国の文化に合うよう改訂することです。そういったプロジェクトには、たくさんのプロセスや人材が絡んできます。そこでそれをマネージャーとしてどのように管理していくべきなのかということについて学んでいます。授業では、クラスが数グループに分かれ、各グループが架空の会社を立ち上げていきます。そのプロセスを通じて実践的に学んでいます。

6. **Public speaking** : パブリック・スピーキングの授業です。こちらも他言語の学生とともに受講しています。ボイストレーニングや、パブリック・スピーキングの様々なテクニックについて学び、隔週で発表をしています。

授業はほぼ毎日午前と午後の一つずつあり、空き時間や放課後は、クラスメイトと集まってサイトトランスレーションや通訳の練習をしたり、図書館で勉強をしています。大学院のプログラムが始まってから、あっという間に1ヶ月が過ぎました。10月の半ばには中間テストも行われます。十分準備して臨めるようにしたいと思います。

受入地区でのロータリーとの関わり、奉仕活動、カウンセラーとの交流

現在は Rotary Club of Monterey Pacific にお世話になっています。カウンセラーの Lisa Luscombe さんは、私の学校で語学プログラムのコーディネーターとして勤務されています。以前は英語のインストラクターとして勤務されており、EPGS 受講中にはライティングやプレゼンテーションについてのアドバイスやコツを伝授してくださいました。また修了後には、お祝いのランチにも連れて行ってくださるなど、いつもとても親切にしてくださっています。当クラブはミーティングを毎週木曜日の午後 5 時から開催されています。モントレイに到着後すぐの 6 月中旬に初めて参加させて頂き、以後スケジュールが許す限り参加させていただいています。毎回カウンセラーの Lisa さんとオフィスで待ち合せし、車で会場まで連れて行ってくださるのでとてもありがたいです。

ミーティング以外では、7月4日に開催された独立記念日のパレードに、クラブの一員として参加させていただきました。独立記念日にはモントレイの中心

街の通り（MIIS から徒歩約 3 分）で、午前中に 1 時間ほどの市民参加型のパレードが行われます。ロータリーの T シャツやハットを身につけ、カウンセラーの Lisa さんと一緒に大きなバナーを持ってパレードを歩かせていただきました。とても楽しく貴重な体験となりました。また 6 月末には、受け入れクラブのアレンジをしてくださった DRFC の Shirley Grace さんとそのご



(写真) 独立記念日のパレード
(右端がカウンセラーの Lisa さん)

友人が、メリーポピンズミュージカルに連れて行ってくださいました。さらに、6 月末で帰国した当クラブの交換留学生から自転車を譲っていただけるという幸運もありました。本当にありがたかったです。カウンセラーの Lisa さんをはじめ、皆さんとてもよくしてくださっています。



(写真)
ミーティング後、Shirley さんとメリーポピンズ鑑賞に出かける前に
(右端がカウンセラーの Lisa さん、その隣が Shirley さん)

今週末には、同クラブのロータリアンの方が誘ってくださり、ボランティア活動に参加させていただけることになりました。地域の子供向けに開催されるイベントの手伝いをさせていただく予定です。これまでなかなか参加できる機会がなかったため楽しみです。その他では、現在 MIIS で Rotaract を設立したいという話が持ち上がっており、それに参加させていただけることになりそうです。

直面している課題、今後の目標

現在最大の課題は、時間管理です。授業ではかなりの量の課題が出る一方、

サイトトランスレーションや通訳には練習時間も十分確保することが必要となってきます。しかし、その課題と練習のバランスをうまくとることに現在非常に苦戦しています。目の前にある課題をこなすことに必死になってしまい、長期的に重要な日々の練習や課題以外の勉強の時間が削られていってしまうことに焦りを感じています。また、時間を節約したいあまり、運動や食生活、睡眠が少し疎かになっていることも気がかりです。時間配分や優先順位を見直して、効率よく回っていくように、改善していきたいと思います。

もう一つの課題は、英語力です。レベルの高いクラスメイトが揃う中、自分の英語力をもっと強化する必要性を感じています。また、大学院のプログラムが始まって以来、日本語科に在籍していることもあり、どうしても日本語を使用する機会が多くなってきています。積極的にもっと他学部の学生と交流する時間を作るなど、英語を使用する機会をできる限り増やすよう工夫していきたいと思います。

現時点の一番の目標は2年目に進級時に、翻訳・通訳専攻に移行することです。そのためには、通訳の授業で十分な成績をとっていく必要があります。通訳の授業で十分な成績をとるには、練習をしっかりと行う必要があります。クラスメイトと勉強会を設定し練習をしていますが、それ以外に自分自身の練習時間も増やす必要性を感じています。繰り返しになりますが、時間をうまくやりくりしていくことが今後の課題です。

その他の特記事項

EPGS を受講中はパシフィック・グローブというモントレールの隣町でホームステイをしていました。ホストファミリーはホストマザーと2人の娘さんで、とても親切にしてくださいました。私の他にも私と同年代のアメリカ人女性2人もステイしていました。その他スペイン人の留学生も数週間滞在していたこともあるなど、とても賑やかな家庭でした。ただ、通学に自転車で約20分、徒歩で約40分かかることが、少し不便に感じたこともあり、EPGS 終了後の休暇中に MIIS 近くのアパートに引っ越しをいたしました。MIIS からは徒歩5分以内の場所に運良く住むことができたため、時間が節約でき、より勉強に集中できる環境になったと思います。